

MENA(ミーナ)

Q:MENAとは何ですか

A:MENAとは、Middle East と North Africaの頭文字を取ったものです。MENA地域の中心となるのが、湾岸協力会議(GCC)の加盟6カ国(アラブ首長国連邦、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーン)です。その他の国については一律の定義はないものの、世界銀行によれば、アルジェリア、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、エジプト、シリア、ジブチ、チュニジア、マルタ、モロッコ、ヨルダン、ヨルダン川西岸・ガザ地区、リビア及びレバノンが含まれます。近年、新たな新興国市場として、この地域への注目が集まっています。

Q:なぜ注目されるのですか

A:主に三つの理由があります。第一が、豊富な天然資源を持つGCC6カ国の高い経済成長率と、それに伴うビジネスチャンスの出現です。2003年以降の原油価格の高騰により、GCC諸国は莫大な

原油収入を得ました。国際通貨基金(IMF)は、2008年の世界的な金融危機の発生以降も、中東・アフリカ地域の成長率については、減速するもののプラスが維持されることを見込んでいます。

さらに、GCCの加盟国は、将来、原油価格の大幅な下落に伴い収入が減少した場合に備え、海外の企業からの技術移転の促進等、資源依存型の経済から脱却する動きを強めています。例えば、サウジアラビアは、新たな産業を育成するため、①自動車の組み立てや部品生産、②建築、③製鉄やアルミ精錬などの金属加工、④パッケージの生産、⑤消費財の製造などの分野で、海外の製造業を積極的に誘致する政策を掲げています。

注目される第二の理由は、MENA地域が多くの人口を擁しており、高い購買力が期待される点です。この地域の人口は、米国の人口と同程度の3億人に上ります。加えて、MENA地域では、先進国に比べ人口の増加率が非常に高い国

が少なくありません。例えば、カタールの2005年から2010年までの人口増加率は、年平均で約11%に達する見込みです(図表)。今後、経済成長に伴い彼らの所得が向上するので、購買力がさらに拡大することが期待されます。

第三は、共通語がアラビア語であるため、企業が販売網を拡大しやすい点です。例えば、衛生用品大手メーカーのユニチャームは、サウジアラビアを拠点に、アラビア語でパッケージを統一した子供用紙おむつをMENA諸国へ輸出しています。

Q:企業の進出の際の注意点は

A:今後、企業がMENA地域へ進出を検討する際、念頭に置くべき点が二つあります。ひとつは、MENA地域に、イラクやイランといった政情が不安定な国が含まれ、それらの動向によっては、地域の経済状況が変わり得る点です。もうひとつは、MENA地域の多くの国ではイスラム教が主流であり、これら国々の人々は、イスラム教固有の行動様式や伝統文化を有している点です。例えば、アルコール飲料や豚肉の摂取が禁じられていたり、年に一度の断食月(ラマダン)の日中は、企業の活動時間が縮小されたりすることがあります。

新たな市場として注目が高まるMENAですが、ビジネス展開に向けては、現地の情勢や文化的確な把握が不可欠でしょう。◆

●主なMENA諸国の経済指標

国名		2007年の 名目GDP (億ドル)	2007年の 一人当たり GDP(ドル)	一人当たり GDP順位 (世界)	2007年の 人口(万人)	2050年の 人口予測 (万人)	人口 増加率 (%)
中東 (GCC6カ国)	サウジアラビア	3,819	15,724	40	2,430	4,370	2.12
	アラブ首長国連邦	1,802	40,147	19	450	830	2.82
	クウェート	1,118	33,760	23	330	520	2.44
	カタール	710	76,374	3	90	230	10.65
	オマーン	404	14,725	42	270	490	2.08
	バーレーン	184	24,138	30	80	130	2.08
北アフリカ	アルジェリア	1,353	3,934	88	3,440	4,960	1.51
	エジプト	1,303	1,772	119	7,360	12,950	1.81
	モロッコ	751	2,423	109	3,100	4,260	1.20
	リビア	699	11,475	50	610	980	2.00

(注)人口増加率は、2005年から2010年までの平均伸び率。
(資料)経済産業省「通商白書」(2009)

みずほ総合研究所 政策調査部

研究員 塚越由郁

yuka.tsukagoshi@mizuho-ri.co.jp